

事象報告シート

概要説明	件名	1号ボイラーの水位低下について
	発生日時	平成30年10月29日 月曜日 10時05分頃 (確認時刻)
	発生場所	中央運転管理室
	事象種類	<input checked="" type="checkbox"/> 運転管理情報 <input type="checkbox"/> 故障 <input type="checkbox"/> 漏洩 <input type="checkbox"/> 汚染 <input type="checkbox"/> 被ばく <input type="checkbox"/> 人の障害
	事象概要 上記事象種類に基づき保安上の情報 ^{※2} を「調査中」も含め明記する。	<p>中央運転管理室において、1号ボイラーの運転中、平成30年10月28日8時08分頃、電気伝導率*が低下しているのを運転員が監視盤上で確認し、同日10時頃、2号ボイラーに切替えを実施した。その後、1号ボイラーを停止し、除熱後に給水を行ったところ、10月29日10時05分頃、蒸気ドラム水位の低下を確認した。</p> <p>*電気伝導率の監視 ボイラー水質の管理において、薬剤の注入量及びボイラー水缶の排出量を制御するために電気伝導率を監視している。</p> <p>別添資料の有無 (<input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無) 環境への影響 (<input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無)</p>
原因	過去に発生した1号ボイラーにおける水位低下、本年度確認された3号ボイラーの水位低下事象の確認結果からボイラー水管からの漏えいと推定する。	
処置対策	<p>ボイラー缶内の温度が十分下がった後、漏えい箇所を特定し、補修を実施する。</p> <p>現在、再処理用の3基のうち、3号ボイラーの補修を実施中であるため、補修完了までの間、2号ボイラーにてユーティリティ (蒸気) の供給を継続する。</p> <p>また、一般用のボイラー (25 t/h で1号ボイラーと同仕様である) を2号ボイラーのバックアップとする。</p>	
連絡区分	連絡区分	<input type="checkbox"/> B情報 <input checked="" type="checkbox"/> C情報
	判断根拠	現在ユーティリティ (蒸気) の供給に支障はないが、3基ある再処理用のボイラーのうち2基が運転出来ない状態となるため、「運転管理上留意すべき事象」と考え「C情報」と判断する。

※1) 本シートは、B、C情報専用とする。A情報については、トラブル等通報連絡票 (第一報) にて行う。

※2) ●「運転管理情報」は原則として保安上問題の無いプラント情報とする。

事故トラブル時の安全上の情報は、以下の内容を「調査中」も含め明記することとする。

- 「故障」の場合は、安全上重要な機能の有無及びその喪失の有無、事象拡大の可能性 (重大事故、漏洩、汚染、被ばく等)。
- 「漏洩」の場合は、漏洩した物質名、漏洩箇所 (タンク、配管、継手、ポンプ等)、漏洩量、施設及び環境への影響の有無。
- 「汚染」の場合は、汚染の程度、線源 (α 、 β 、 γ 、核種等)、汚染場所及び区域の面積。
- 「被ばく」の場合は、被ばく時の状況 (作業内容等)、被ばく箇所 (内部、外部、全身、皮膚等)、被ばく量の管理基準に対する程度。
- 「人の障害」の場合は、障害の発生した場所 (管理区域、保全区域)、入院加療の有無及び日数。



核燃料サイクル工学研究所 施設配置図

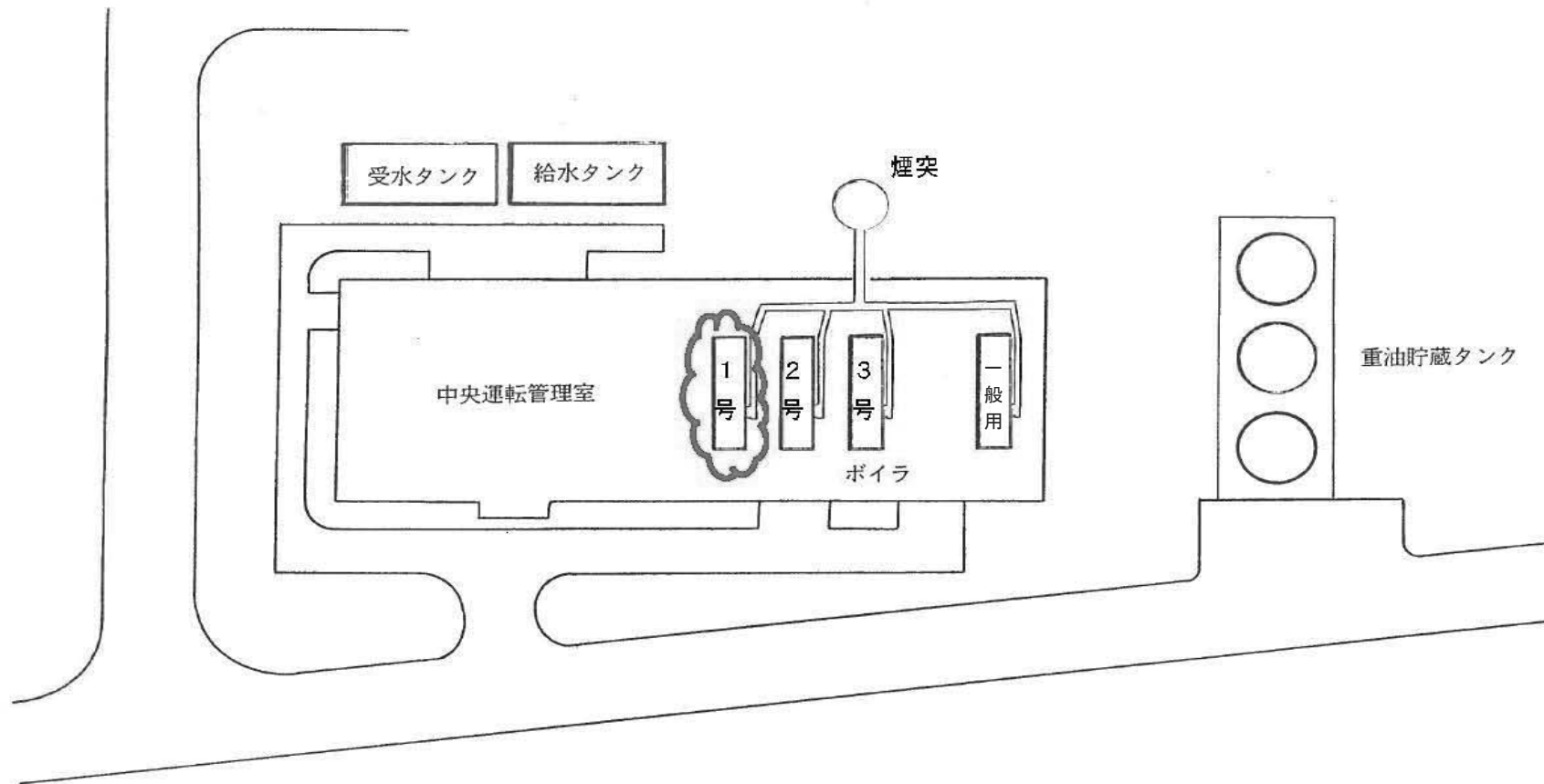


図-3 主要機器類配置図

平成6年設工認抜粋

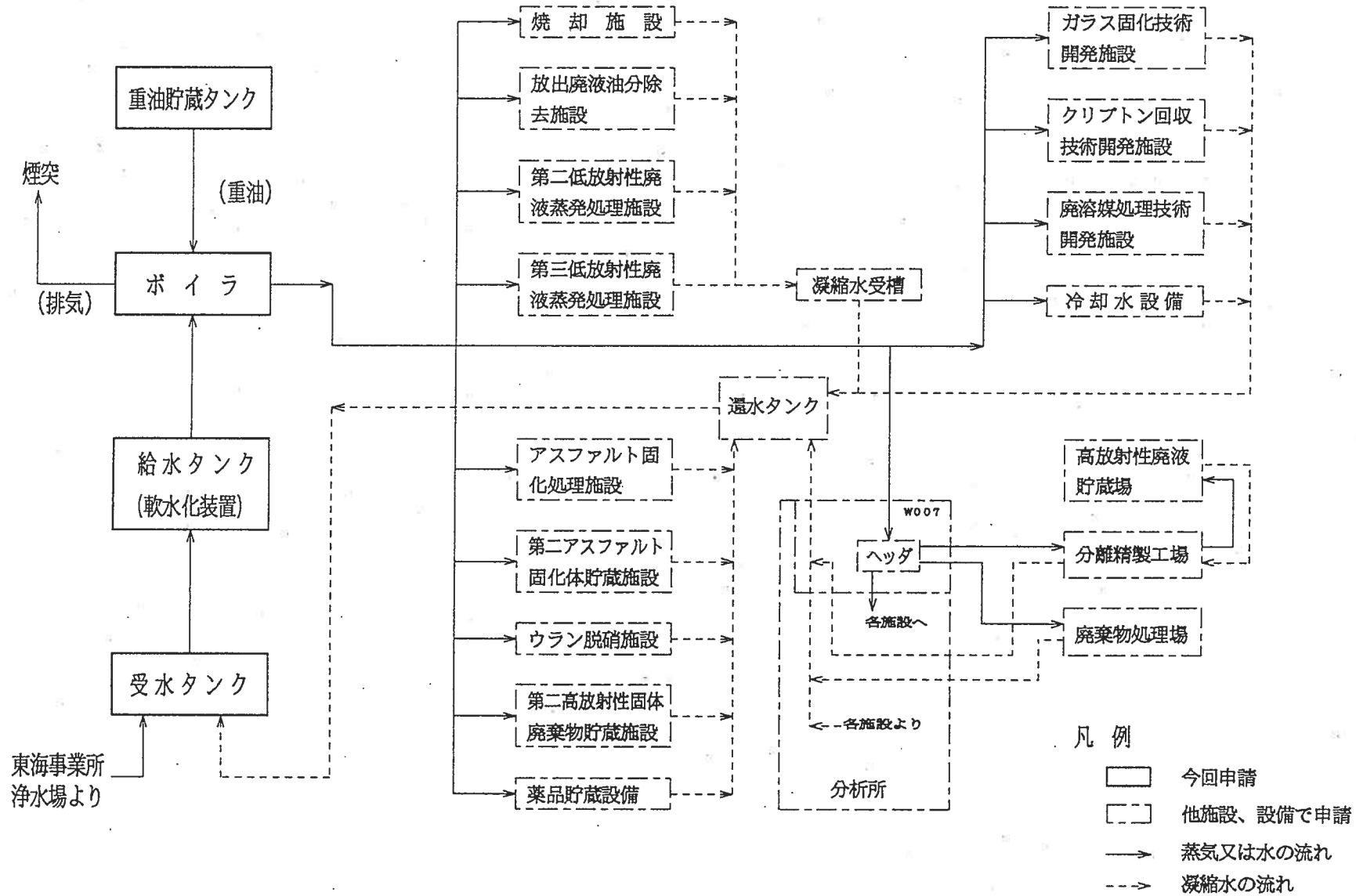


図-1 蒸気設備工程概要図